

事業概要シート

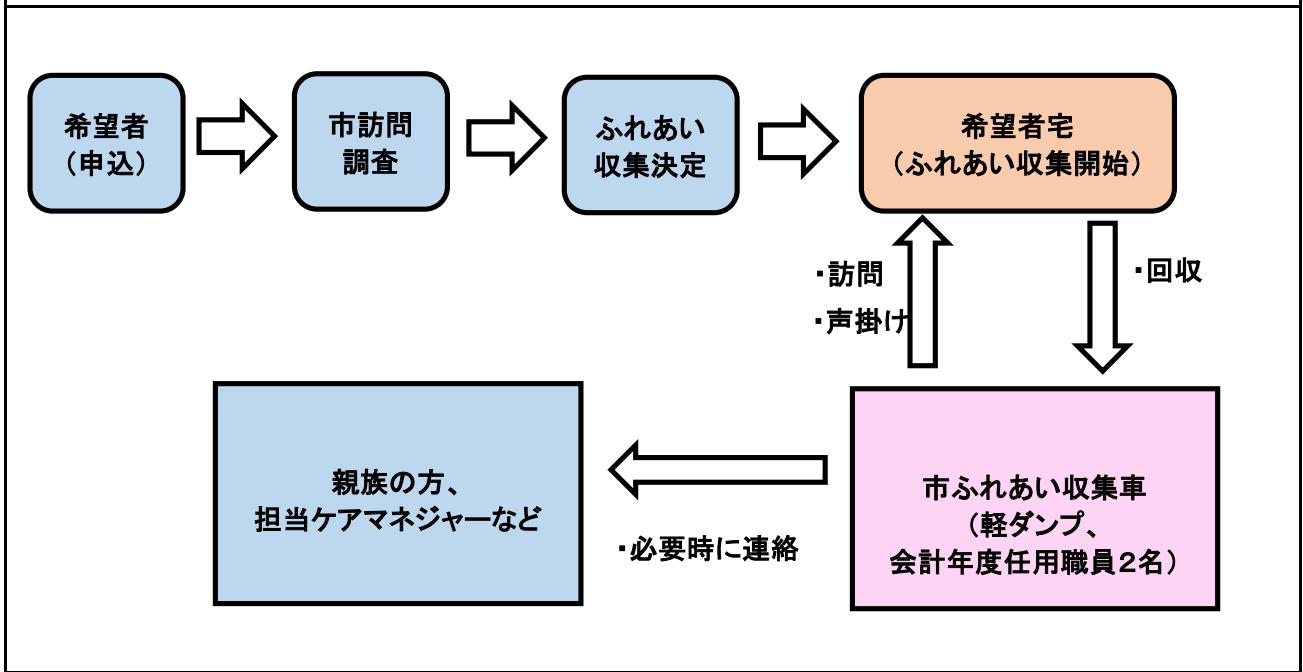
施策	2003	ごみの減量化と適正処理の推進	<<>>の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く
事業名	ふれあい収集事業	現状維持	予算額 5,156 千円 << 4,278 >>千円
事業期間	平成29年度 ~		財源内訳 国庫支出金 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 5,156 千円
根拠法令要綱等	ふれあい収集事業要綱		

【事業の目的・概要・対象】

【目的】 日常のごみ出しが困難な方のごみ出し作業をサポートする。対象者の方で希望者に対してごみ回収時に声掛けを行い、安否確認を行うとともに、必要に応じて親族等へ連絡を行う。

【概要】 ふれあい収集は、決められた排出場所までごみを持って行くことができない高齢者や障がい者などを対象に、玄関先まで回収に向く制度。また、見守り活動として、希望者には声掛けを行っており、対象者に不測の事態があった場合は、本人が指定した親族やケアマネジャー等に連絡する。

【対象】 収集実施世帯数：336世帯（令和5年3月31日時点）



【背景】

平成28年6月から試験運用し、平成29年度から正式に開始した制度である。現在2名の会計年度任用職員が軽ダンプ1台で市内全域を回収しているが将来的には高齢化の進展に伴う希望者増加による事業拡充も想定する必要がある。また、市の重点施策として燃やせるごみのステーション化推進事業に取り組んでおり、ステーションまでごみを持って行くことが困難な高齢者や障がい者の方へも有効な事業となっている。

担当課	市民環境部 環境センター	課長	荒木 良也
担当者	鷺塚 嘉彦	問合せ先	0957-54-3100

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	R 4 (実績)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)
①	ふれあい収集件数	計画値 件	336	190	190	190	190
②		計画値					

【成果指標】

指標名		単位	R 4 (実績)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)
①		計画値					
②		計画値					

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	合計
事業費	4,065	4,002	4,278	5,156	5,156	5,156	27,813
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他	4,065	4,002	4,266				12,333
一般財源				5,156	5,156	5,156	15,468
人件費	4,363	727	727	727	727	727	7,999
職員(人)	0.60人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	1.10人
時間外勤務(h)							0h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	8,428	4,729	5,005	5,883	5,883	5,883	35,812

妥当性 (市の関与)	本市は今後も可燃ごみのステーション化を推進することとしており、新設のステーションまでのごみ出しが困難な方へのふれあい収集は必要な事業であり市が実施することは妥当である。
有効性 (施策貢献度)	個別収集からステーション収集にすることにより、ごみ収集作業の効率化に繋がり、施策「ごみの減量化と適正処理の推進」において適正処理に貢献するものと考えられる。
効率性 (コスト)	本事業の希望者(利用者)は増加してきているが、収集ルート見直しやごみ排出時の分別徹底のお願いなどを通して、人員増などをせず現状維持の体制で効率的に事業を実施しており、コストを見直す余地はないと考える。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり